

平成25年度 全国高等学校選抜優勝大会 富山県予選会 戦評 戦評

2013年 11月10日(日)		会場：黒部市総合体育センター																
男子 試合No. 特2		決勝戦																
勝ちチーム 富山第一高校	73	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>21</td><td>—</td><td>15</td></tr> <tr><td>17</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>17</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	21	—	15	17	—	11	18	—	9	17	—	14	—			49 負けチーム 桜井高校
21	—	15																
17	—	11																
18	—	9																
17	—	14																
—																		
戦 評																		
<p>富山第一は1-3-1のゾーン、桜井はマンツーマンディフェンスでスタート。先制は、富山第一。連続得点するものの、ファウルが続く。桜井はフリースローなどで応戦するが第一の#18のリバウンドシュートやスチールなどで点差を広げる。第1Q、21対15。第2Qは、両チームともマンツーマンでスタートするが、シュートが決まらず、点数が動かない。桜井の#6が第一の#18からオフenseファウルを奪ったり、ゾーンプレスを仕掛けたたり、ディフェンスで流れを引き寄せるが、シュートがリングに嫌われ、なかなか得点出来ない。第一は、リバウンドからの速攻で、着実に点数を重ねる。緊張からか両チームともミドルシュートが落ち、ロースコアの展開で前半を終える。38対26で第一リード。第3Qは、第一がマンツーマン、桜井が1-2-2のゾーンでスタートする。第一の#18のダンクシュートで得点するものの、すかさず桜井の#5が速攻で入れ返す。第一は、ゾーンに攻めあぐみ、カットから速攻を許す。また、プレスに対してもパスミスが目立ち、初のタイムアウトを取る。その後は、お互い3Pやジャンプシュートが決まり出し、56対35。第4Q、桜井はプレスディフェンスを強めるが、第一の#13が巧みなドリブルでかわし、ドライブから点数を奪う。結局、第一の#18は3本のダンクシュートを含む37得点で、ブロック・リバウンドなど大活躍であった。富山第一が73対49で見事栄冠をつかんだ。</p>																		
記録者：大浅 忠雄		所 属：富山県高体連専門部																
主 審：構 富士雄		副 審：林 睦夫																